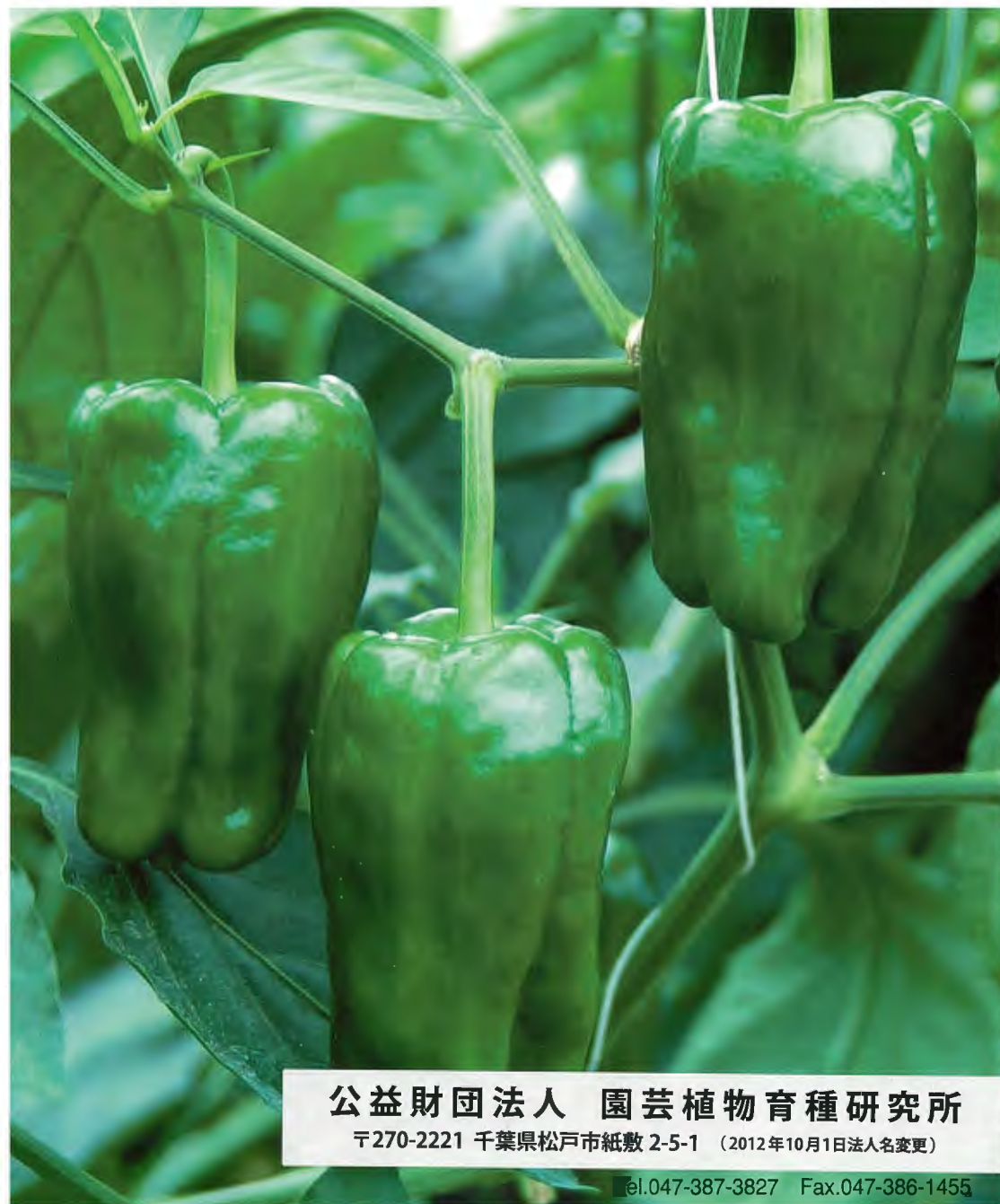


TSWV 抵抗性

ピーマン

TSR みおぎ



公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1 (2012年10月1日法人名変更)

TEL.047-387-3827 Fax.047-386-1455

TSWV抵抗性

ピーマン TSR みおぎ

(独) 中央農業総合研究センターとの共同研究にて育成しました。

品種特性

- トマト黄化えそウイルス(TSWV)に対して抵抗性(T_{sw})があります。
- トウガラシマイルドモットルウイルス(PMMoV(P12))に対して抵抗性(L^3)があります。
- 青枯病に対して「みおぎ」程度の抵抗性があります。
しかし、他のウイルスや病気に対しては、抵抗性はありません。
- 「みおぎ」と比べて初期から着果数が多く草勢の維持が必要です。
- 1果重は30~40gで、「みおぎ」に比べやや小さめで、揃いの良い果実です。

栽培の要点

- 「みおぎ」と同等の収量性があります。
より収量を安定させるには、草勢の維持がポイントです。
若苗定植して1~3分枝の花を摘む。
V字に仕立て素直に主枝を伸ばし、側枝の整枝により草勢を保つ。
- アザミウマの天敵放飼は、TSWV抵抗性品種と組合せることにより、天敵の定着を安定させることが可能で有効です。

「TSRみおぎ」導入上の注意点

「TSRみおぎ」の抵抗性を侵すTSWVが発生しています。

- 「TSRみおぎ」を導入する場合は、指導機関で現在発生しているウイルスを検査してください。
「TSRみおぎ」で抵抗性が発揮できるウイルスであることを確認してから導入してください。
- 紫外線カットフィルムの展張やアザミウマ防除などを行ってください。
- 高温時は抵抗性が弱まります、ハウスの換気に注意して温度上昇を抑えてください。
- 感染源となるハウス周辺の除草を徹底してください。

◎ウイルスの疑わしい株が発生した場合は、すぐに抜き取って検査に出してください。
あわせて、アザミウマの確認と防除を徹底してください

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷2-5-1
TEL. 047-387-3827 (代)
FAX. 047-386-1455